

あがつま



年間聖句

「まことの礼拝をする者たちが、
霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。
今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。」
(ヨハネによる福音書4章23節)

賛美歌を歌おう①
『栄えの主イエスの』
(讃美歌 142番)
英語で作られた最も美しい
賛美歌と言われている受難の
賛美です。
作詞者のアイザック・ウォ
ッツ(1678-1748)は、「イギリ
ス賛美歌の父」とも呼ばれ、
それまで詩篇しか歌わなかつ
たイギリスの教会に新しい賛
美をもたらした人物です。
当時のイギリスでは国教で
ある国教会と、より徹底した
宗教改革を求める非国教徒と
呼ばれる人々が対立し、非国
教徒は差別され、弾圧を受け
ていました。ウォッツはその
ような非国教徒の家庭に生ま
れ育ち、国教会の大学に入る
権利を放棄して、非国教会の
私学で学び、非国教会の教会
で牧師を務めました。

国家と一体となった国教会
に反対していたウォッツの教
会には、国教会からはじき出
された労働者たち、下流階層
とされていた人々が多く集い
ました。彼の賛美歌は、そう
した会衆が理解しやすいよう、
一節一節が短く、平易な言葉
で編まれています。
ウォッツはイギリス最初の
創作讃美歌集を出版(1707年)
し、その生涯で600以上の賛
美歌を世に出しました。彼の
作詞した賛美歌は、讃美歌(1954
年版)にも多く、17曲が取り
入れられ、『ああ主は誰がた
め』(138番)や、『神はわがち
から』(286番)など、私たち
にもなじみ深い賛美歌が収録
されています。

(稲垣真実)